



健やか豆知識 第26回

Q. 生後2ヵ月から予防接種が開始できるのは、次のどのワクチンでしょうか?

- I 麻疹・風疹混合 (MR)
- II インフルエンザ
- III ヒブ (インフルエンザ菌b型)



高田製薬は、患者さんや医療関係者の声に耳を傾け、医療ニーズに合った医薬品の開発と情報提供で、健康な社会づくりに貢献します。

— 人びとの健康を願って —
高田製薬株式会社

子どもの感染症予防の基本は予防接種です。

最近、コロナ禍によって子どもを予防接種に連れて行くことや、医療機関を受診することに不安を感じているかもしれません。赤ちゃんは母親からもらった免疫によって、多くの細菌やウイルスなどの感染から守られていますが、成長するにつれその免疫が薄れていくと感染症にかかりやすくなります。予防接種は、その免疫が薄れてくる時期、病気にかかりやすい年齢や重症化しやすい年齢を考慮して感染症ごとに接種年齢を定めて実施しています。

特に生後2ヵ月から予防接種が受けられるヒブ(インフルエンザ菌b型)や肺炎球菌、B型肝炎、ロタウイルスは、乳児がかかりやすい感染症で、これらの予防接種をおこなると感染後に重症化したり、後遺症が残ったりする危険性があります。中でもヒブ(インフルエンザ菌b型)は冬場に流行するインフルエンザウイルスとはまったく違う病原体で、細菌性髄膜炎、喉頭蓋炎、菌血症など乳幼児の命にかかわる感染症の原因となります。

しかし、これまでの経験からワクチンの有効性・安全性が確認され、予防接種の普及により、かつて多くの幼い命を奪ってきたこれらの恐ろしい感染症から子どもたちが守られるようになりました。そして、予防接種は自らが病気にかかりにくくなるだけでなく、社会全体で流行を防ぐ効果もあるため、乳児期からの接種がすすめられています。乳児期に受けるべき予防接種は数が多いですが、一番必要な時に受けられるよう、市区町村がお知らせをしています。

お近くのクリニックやかかりつけ医では、病気の子どもとの接触がないよう配慮している施設も多くありますので密になることを避けることができます。手指消毒や咳エチケットなどの感染対策を心がけ、予防接種の時期を遅らせることなく受けましょう。

監修 中野 貴司 川崎医科大学総合医療センター 小児科教授

さらに詳しい情報はホームページで!



< 正解 III ヒブ (インフルエンザ菌b型) >

クイズの解説

予防接種スケジュールを参考にワクチン接種を受け、子どもを感染症から守りましょう。

予防接種には、予防接種法に基づき公的負担で受けられる**定期接種**と必要な状況に応じて接種できる**任意接種**があります。予防接種法に基づく定期接種は、病気ごとに定められた接種期間(予防接種スケジュール)があり、**母親から受け継いだ免疫力が薄れてくる時期**や**病気にかかりやすい年齢**、**重症化しやすい年齢**を考慮して定められているので、できるだけ適切な期間内(定期接種であれば自治体から案内される期間)に接種することが大切です。

ワクチンには「**注射生ワクチン**」「**経口生ワクチン**」「**不活化ワクチン**」の3種類があります。接種時期については「**異なる種類のワクチンを接種する際の接種間隔のルール(厚生労働省HP)**」も参考にしてください。「**注射生ワクチン**」の接種後27日以上の間隔をおこななければ「**注射生ワクチン**」の接種を受けることはできません。しかし、それ以外のワクチンの組み合わせでは、前のワクチン接種からの間隔にかかわらず、次のワクチンの接種を受けることができますようになりました(2020年10月1日より)。

生後2ヵ月から予防接種がはじまり、特に乳児期においては、多くのワクチン接種が複数回必要です。1回の受診で2種類以上の予防接種を同時に同じ接種者に対して行うことを同時接種といい、「各ワクチンの接種率向上(接種忘れがなくなる)」、「子どもたちがワクチンで予防される感染症から早期に守られる」、「保護者の時間的負担が軽減する」観点から、日本小児科学会は、「ワクチンの同時接種は、日本の子どもたちをワクチンで予防できる病気から守るために必要な医療行為」としています。次の接種のスケジュールを立てる際など、必要な場合はかかりつけ医と相談してみましょう。

また、「予防接種をうっかり受け忘れてしまった!」なんてこともあるかもしれません。接種期間を過ぎた定期接種については各自治体で対応が異なりますので、定期接種のうち未接種のワクチンがあれば、一度、市町村の保健センターに相談してみましょう。すべてが大切な予防接種です。可能な限り、必要なすべてのワクチンを早期に接種できるとよいですね。

厚生労働省: 母子健康手帳について(任意様式)より抜粋 ▶

予防接種スケジュールの例(2021年4月1日現在)

| 種類 | ワクチン | 乳児期 | | | | | 幼児期 | | | | | 学童期 | | | | | | | | | | |
|------|-----------------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|----|----|-----|----|-----|----|----|----|------|------------------|
| | | 2ヵ月 | 3ヵ月 | 4ヵ月 | 5ヵ月 | 6ヵ月 | 7ヵ月 | 8ヵ月 | 9ヵ月 | 12ヵ月 | 15ヵ月 | 18ヵ月 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 | 10歳~ | |
| 定期接種 | インフルエンザ菌b型(Hib) | ① | ② | ③ | | | | | | ④ | | | | | | | | | | | | |
| | 小児用肺炎球菌 | ① | ② | ③ | | | | | | ④ | | | | | | | | | | | | |
| | B型肝炎(HBV) | ① | ② | | | | | | ③ | | | | | | | | | | | | | |
| | ロタウイルス | 1価 ① | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 5価 ① | ② | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 四種混合(DPT-IPV) | ① | ② | ③ | | | | | | | ④ | | | | | | | | | | | |
| | BCG | | | | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 麻疹、風しん(MR) | | | | | | | | | | ① | | | | | | | ② | | | | |
| | 水痘(水ぼうそう) | | | | | | | | | | ① | ② | | | | | | | | | | |
| | 日本脳炎 | | | | | | | | | | | | | | ①②③ | | | | | | | ④ 9~12歳(2期) |
| 任意接種 | おたふくかぜ | | | | | | | | | | ① | | | | | | (2) | | | | | |
| | インフルエンザ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 毎年①、②(10月、11月など) |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 13歳より① |

※丸囲み数字(①、②など)は、ワクチンの種類毎に接種の回数を示しています。